

決定の条件を分析する

100 XP

4 分

このユニットでは、エキスパートが特定のビジネス ニーズに対応するために DevOps ツールやサービスを選択するときに採用する条件を分析します。その条件を理解することは、各製品の微妙な相違点をさらに理解するのに役立ちます。

テスト ラボの作成を自動化および管理する必要があるか

テスト ラボ環境の作成と管理を自動化することが目的の場合は、Azure DevTest Labs を選択することを検討してください。説明した 3 つのツールとサービスの中で、この機能が提供されるのは 1 つだけです。

ただし、新しいラボのプロビジョニングは、Azure Pipelines または GitHub Actions を使用したツールチェーンの一部として自動化できます。

オープンソース ソフトウェアを構築しているか

Azure DevOps はパブリック コード リポジトリを公開できますが、GitHub は長い間、オープンソース ソフトウェアで好まれるホストです。オープンソース ソフトウェアを構築している場合は、オープンソース開発コミュニティによる視認性や一般的な支持以外に理由がなければ、GitHub を選択するでしょう。

決定の条件の残りの部分は、Azure DevOps か GitHub のどちらを選択するかに特化しています。

注意

選択肢は、Azure DevOps Services か、GitHub と GitHub Actions のどちらかに制限されているわけではありません。実際には、必要に応じてこれらのサービスを混在させ組み合わせることができます。たとえば、作業項目を追跡するために GitHub リポジトリを Azure Boards と一緒に使用できます。

ソース コード管理と DevOps ツールについて、アクセス許可にはどのレベルの粒度が必要か

GitHub は、すべての機能への読み取り/書き込みアクセス許可の単純なモデルで機能します。一方、Azure DevOps には、ツールセット全体でほとんどの操作を実行できるユーザーを組織が絞込めるようにするさらに細かな一連のアクセス許可があります。

ソース コード管理と DevOps ツールについて、プロジェクト管理とレポートをどれだけ高度にする必要があるか

GitHub には作業項目、イシュー、かんばんボードがありますが、プロジェクト管理とレポートは、Azure DevOps が優れている分野です。Azure DevOps は高度なカスタマイズが可能であるため、管理者はカスタム フィールドを追加して、各作業項目の横にメタデータやその他の情報を取り込むことができます。これに対して、GitHub のイシュー機能では、チームが問題を分類するための主要な手段としてタグが使用されます。

ソース コード管理と DevOps ツールについて、サードパーティのツールとどの程度緊密に統合させる必要があるか

サードパーティのツールについて具体的な推奨は行いませんが、ツールとサービスに対する組織の既存の投資を理解し、それらの依存関係がどのように選択肢に影響するかを評価することが重要です。多くの場合、DevOps ツールを作成するほとんどのベンダーは、Azure Pipelines と GitHub Actions の両方で使用できるフックや API を作成しています。その場合でも、おそらくその前提条件を検証することは価値があります。